



2年学年だより

発行日：令和8年2月27日(金)

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：二上 直子 NO. 10



令和7年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校 15 期生適性検査が実施されました。附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和7年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今月の学年だよりでは、各学年の主任からのことばをお伝えします。

保護者の皆さま、1年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和7年度も残りひと月、よろしくお願いいたします。

心のペダルを上手に踏んで

3年学年主任

みなさんは自動車のブレーキとアクセルのペダルを知っているでしょうか。**ブレーキの方が幅が広く大きい、アクセルの方が幅が狭く小さい**です。車を運転していて、「止まらない!」と思った時には必死にブレーキを踏みます。そのブレーキが小さくて、踏み外したら大惨事です。だから、車のブレーキは大きく、踏みやすいようにできているのでは?と思います。…それは人間も同じかなと。自分にとってきついこと、心の中で「やった方がよい」ことはわかっているのに…「やらない理由」を探し、「心のブレーキ」を踏んでしまう。それはきっと、ブレーキの方が踏みやすいから。

逆に、アクセルペダルはどうでしょうか。「アクセルを踏む」=「前に進む」ということです。しかし、アクセルを踏むことを止めたらスピードが遅くなります。踏み続けるのはなかなか疲れる作業です。途中、休憩や安全のためにブレーキを踏むことも大事。でも、前に進むには、アクセルを踏まないといけません。人間も同じですね。心のアクセルを踏んで努力をし、前に進んでいくことが大事。これも、みなさんわかっていることだと思います。

しかし、厄介なのは、**ブレーキとアクセルが隣にある**ことです。しかも、ブレーキは大きい。アクセルは小さい。…ブレーキを踏みたくなくなりますよね。意図してブレーキを踏むときがあっても良いと思います。でも、いつかアクセルを踏めるようにしてほしい。なんとなくだらけてしまってアクセルを踏めない人は、ちょっとずつでも踏んでいかないと、後悔してしまうかも。今自分は、どちらのペダルを踏んでいますか?そして、自分の人生をどの方向に動かすか、そのハンドルを握っているのは、他でもない自分です。自分の道に責任をもって、進んでいきましょう。

雨過天晴 ☀️ 🌧️ 🌈

2年学年主任

新年度が始まり、希望と不安でいっぱいだった4月。早いもので1年が経とうとしています。今、みなさんはこの1年を振り返って、どのように感じていますか。個人差はあれど、様々な想いが心の中にあるのではないのでしょうか。

「たとえ苦しいことがあっても、その先はきっと楽しいことがある。必ずその状況を切り拓くことができる。」

これは、私が常々心に留めていることです。この意味を書き初めて表現したいと思い、「雨過天晴」という言葉を選びました(しばらく4階に飾っていただきましたが、「雨」が入った熟語を探して書いたわけではありません!)。決して楽観的になってほしいわけではないのですが、何とかなることも多いです。自分なりに頑張ったり、誰かに相談してみたり、無理せずしっかりと休んだりするなど、状況を変える方法はたくさんあります。一步踏み出す勇気を大切にしてください。目の前が曇り空でも、その先の晴れ空を想像してみましょう。そうすれば、心が少し軽くなり見える景色も変わってくると思います。日常と同じように、いつかきっと晴れると思います。

最後に13期生のみなさん、1年間ありがとうございました。特に印象に残っているのは、新潟イングリッシュキャンプです。13期生パワーが全開でした(特に DanceParty ♪)。いよいよ中学最高学年。最高の思い出をつくろう。

探究心をさらに育てていく、新たな1年に

1年学年主任

この一年を振り返ると、様々な場面でいきいきと楽しそうに取り組むみんなの姿を目にすることがありました。例えば、合唱コンクールや南高祭に向けて練習や準備に取り組んでいた場面。EGGでテーマを決め、友だちと協働しながら取材したりアンケートをとったり、もっと深く調べてみようという頑張っていた場面。また、放課後は委員会や部活動に一生懸命に取り組む姿もありました。そして日々の数学の授業では、「すごい、面白い、自分もやってみたい」「もっと説明したい、話し合いたい」という表情や雰囲気が、どのクラスにもあり、みんなとする授業が本当に楽しかったし、多様な考えや解き方に毎回驚かされました。

いきいきと取り組む様子、もっと学びたいと課題や物事に対して主体的に取り組む気持ち、そんなみんなの姿こそ教育目標にもある「探究心」と言えるのではないのでしょうか。

春の香りに包まれた明日からの3月は、1年間の締めくくりの時期であると同時に、次の学年に向けて「新たな気持ちでまた頑張っていくぞ」と決意する時期でもあります。最後まで笑顔あふれる一か月にしていきたいと思います。そして、来年度も行事に、委員会や部活動、そして授業に、一人ひとりが「探究心」をさらに育てていく、希望に満ちあふれた1年にしていきたいと思います。